創立 10 周年のご挨拶

当社は 2015 年 9 月 1 日を持ちまして、創立 10 周年を迎えました。これもひとえにお客様をはじめ、お取引先様、関係者の皆様のご愛顧とご支援の賜物と社員一同感謝いたしております。

当社の外観検査機事業は旧カネボウの時代まで遡れば 40 年以上の歴史があります。その長い歴史の中で、当社は 2005 年（平成 17 年）9 月 1 日に創立しました。この 10 年間を振り返りますと色々な出来事がありました。2000 年から発売を開始した EXX 型錠剤検査機のマイナーチェンジ版である EX2 型、EX3 型、そしてカラーカメラと 3D 検査搭載型、健康食品向け廉価版や高処理能力を実現したタイプ、また、電子業界向けには A5 型、更には A6 型、トレイ搭載部品の検査機である PL 型や円柱状部品の検査機 SN 型など多くの商品を世に送り出しました。そして国内はもとより海外への販路拡大を求めて市場開拓を行い軌道に乗せたこと、検査機の累計販売台数が 1,000 台を突破したという事も記憶に新しいところです。

また、最近のトピックスとしては、昨年 10 月に当社の 3D 技術が認められ、製剤機械技術学会から仲井賞を受賞しました。そして、今期は当社にとって初めての海外での製造拠点となる韓国支店を開設するなど、積極的に事業展開を進めてまいりました。その一方でリーマンショックに見舞われ苦労した期もありましたが、常に新商品を追い求め、お客様に喜んで頂くことを常に願い、事業を進めてこられ、今のビスウィルの礎を作り上げられた関係者の方々の労に、改めて感謝申し上げます。

当社が得意とする外観検査機の事業というのは、目視による外観検査という重労働からお客様の作業者を解放する事と製品の外観品質を一定に保つということでお客様の生産活動に貢献することにあります。信頼の出来る外観検査機、使って良かったと感じてくださる外観検査機を提供することで顧客満足度を上げる。お客様に貢献し、社会に貢献することにより私たち社員も自信と誇り、そして笑顔で業務に邁進する。このサイクルを回して、「世界一の外観検査機総合メーカー」を目指すことが最も重要な経営方針と考えております。

9 月 1 日より、当社は次の 10 年に向かい、新しいスタートを切ります。皆様とともにさらなるビスウィルの可能性を追求していく所存です。失敗を恐れずに自由な発想で、もっともっと大きな夢を持ってチャレンジしていく。そして世界に通用する“さすがはビスウィル”といわれるビスウィルブランドの製品を作り続けてまいります。

先に開催しました創立 10 周年記念式典のコンセプトは『ビスウィルの 10 周年に関わるすべての人へ感謝をこめて』でした。このコンセプトを胸に、更なる躍進に向け、社員一同不退転の決意で臨む覚悟です。今後ともなにとぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015 年 9 月 1 日
第一実業ビスウィル株式会社
代表取締役社長　松川忠行